

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

※データ期間は2018年11月14日から2018年12月14日（日次）

【2018年12月10日～2018年12月14日】

日本は国債利回り低下

◆日銀が長期国債の買入額を縮小したものの需給の逼迫が緩和せず日本国債は価格上昇

米仏は国債利回り上昇

◆米国債は11月のコアCPIが前年比で加速したことや11月の小売売上高増加などを手掛かりに売りが優勢

◆仏全土に広がるマクロン政権に対する反発デモへの措置が、来年の財政赤字を押し上げるとの見通しが広がり仏国債は価格下落

米国10年国債利回り



日本10年国債利回り



フランス10年国債利回り



出所：Bloomberg 1/2

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみざん

大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ちょこツとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

※データ期間は2018年11月14日から2018年12月14日（日次）

【2018年12月10日～2018年12月14日】

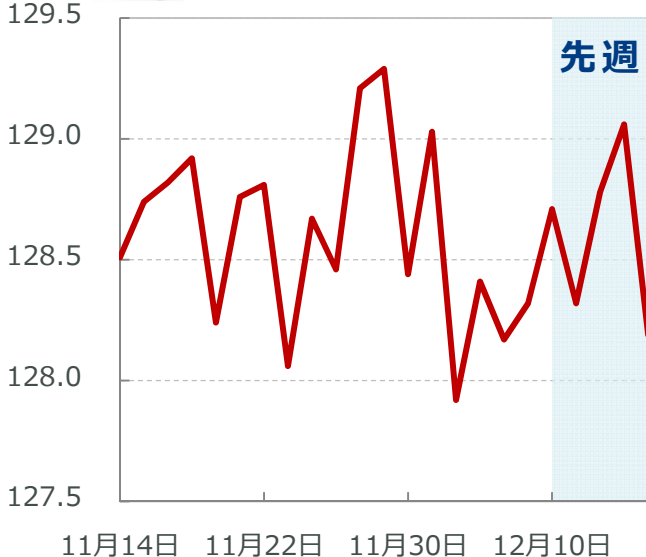
逃避需要の円買いが一服

- ◆ ファーウェイ幹部の保釈決定や米中通商協議進展の兆しを背景に円買いが一服
- ◆ 11月の米コアCPIが12月の利上げを確信する結果と市場で受け取られ米ドルは上昇
- ◆ 冴えない中国経済指標や年末に絡んだポジション調整などから豪ドルは軟調に推移
- ◆ ユーロはECB理事会の量的緩和終了決定を受けて上昇したものの、その後ドラギ総裁がユーロ圏の成長鈍化懸念を示し下落

(円)  **米ドル円**



(円)  **ユーロ円**



(円)  **豪ドル円**



出所：Bloomberg **2/2**

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみざん

大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会